

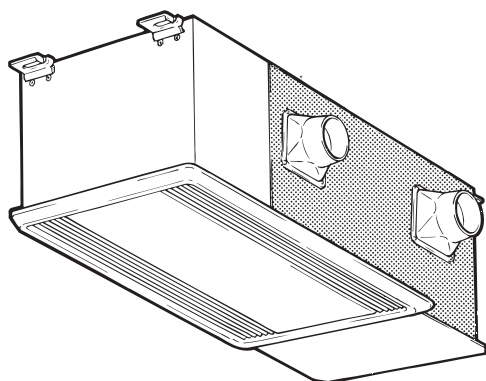
三菱 **業務用** ロスナイ
 パワー脱臭カセット形
 形名

LGH-N10DC
 LGH-N15DC
 LGH-N25DC

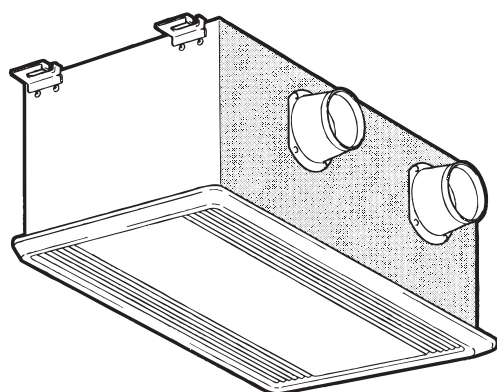
据付工事説明書

販売店・工事店様用

※LGH-N15DC



※LGH-N10DC, N25DC



もくじ

ページ

据付けの前に

安全のために必ず守ること	2
据付け前のお願い	2
外形寸法図	3
据付例	4

据付けの前に

据付方法

据付け前の準備	4
本体の据付け	5
ダクト接続	5
電気工事	6

据付方法

据付けの後に

試運転	7
パネル(システム部材)の取付け	7~8

据付けの後に


据付工事を始める前にこの据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
 据付工事は販売店・工事店様が実施してください。




■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等によりご用意ください。


別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付けが終わりましたらこの説明書とともにお客様に必ずお渡しください。



安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------	----------------------------------

	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります
	浴室などの湿気の多いところには、本体・壁スイッチとも据付けない 感電や漏電の原因となります
 指示に従い必ず行う	交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります
	外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります
	本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがをすることがあります
	電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備の技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する 接続不良や誤った電気工事は感電や火災のおそれがあります
	漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合、火災のおそれがあります
	端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります
製品金属部（金属製ダクト）がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように取付ける 接触して据付けると漏電した場合、火災の原因になります	

	注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------	--------------------------------------

	直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には据付けない 火災のおそれがあります
 指示に従い必ず行う	据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります
	据付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
	吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する 強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になるおそれがあります
	開梱後すみやかに付属品のダクト接続フランジを取付ける 取付け前に開口部へ手を掛けたりするとけがの原因になります
本体より室外側のダクトは室外に向かって下りこう配(1/30以上)になるように据付け、断熱処理を確実に 雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷の原因になります	

規制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、煙逆流防止ダンパー（お客様手配）およびその点検口を必ず設けてください。
- ジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

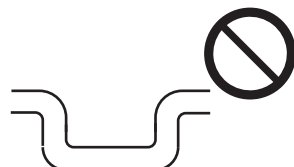
据付け前のお願い

- 天井が高い場合（3m以上）や臭気発生場所から製品が遠い場合には、脱臭効果が十分発揮されない場合があります。空調機や補助送風機で「臭気発生→脱臭」の気流をつくり、できるだけ臭気が拡散する前に脱臭できるようにしてください。
- 直接顔に風があたるような場所（ベッドの上等）では、給気により寒さが気になる場合がありますので、据付けは避けてください。
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 寒冷地あるいは風の強い地域では運転停止時に外風が侵入することがありますので、給・排気ダクトの途中に電動シャッターを設けることをおすすめします。
- 給排気ダクトの先端には、雨水などの浸入を防ぐためのフード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。
- 給・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- 次のようなダクト工事をしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

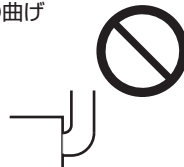
● 極端な曲げ



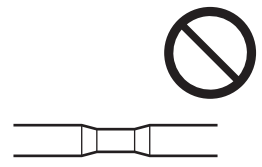
● 多数の曲げ



● 吐出口のすぐそばでの曲げ

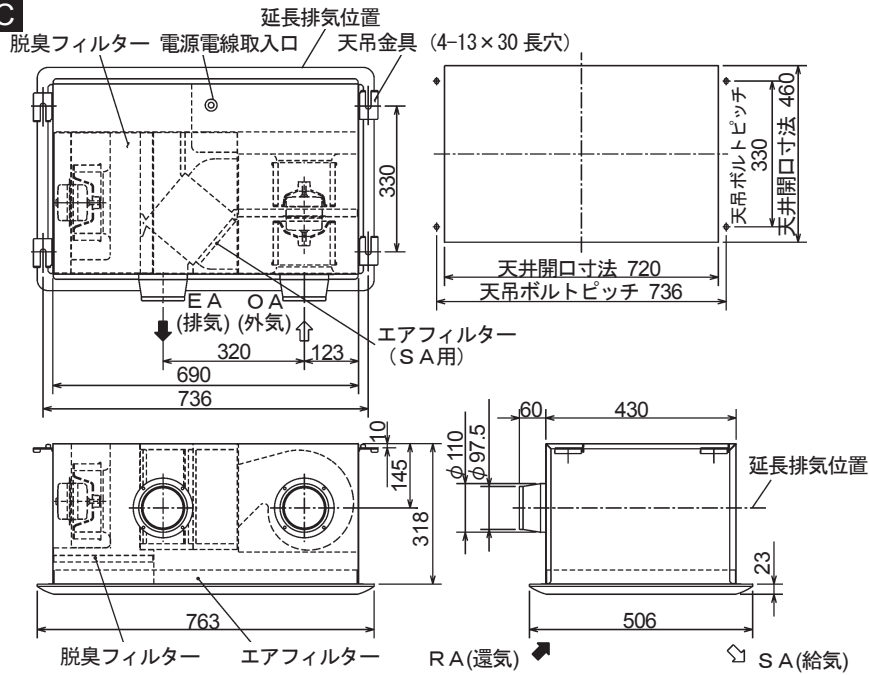


● しぼり



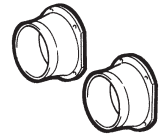
外形寸法図

LGH-N10DC



付属部品

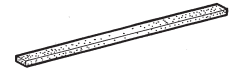
ダクト接続フランジ... 2



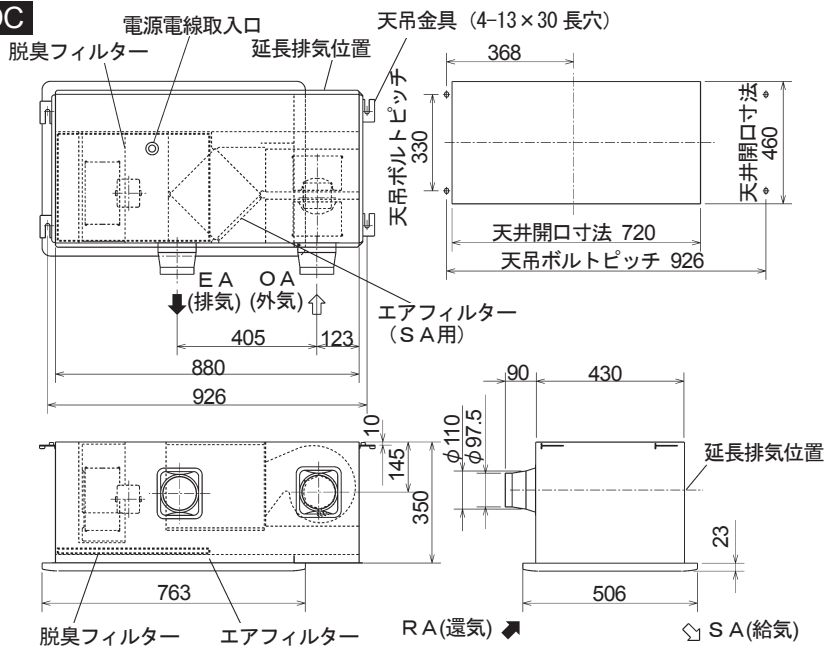
取付ネジ..... 8本



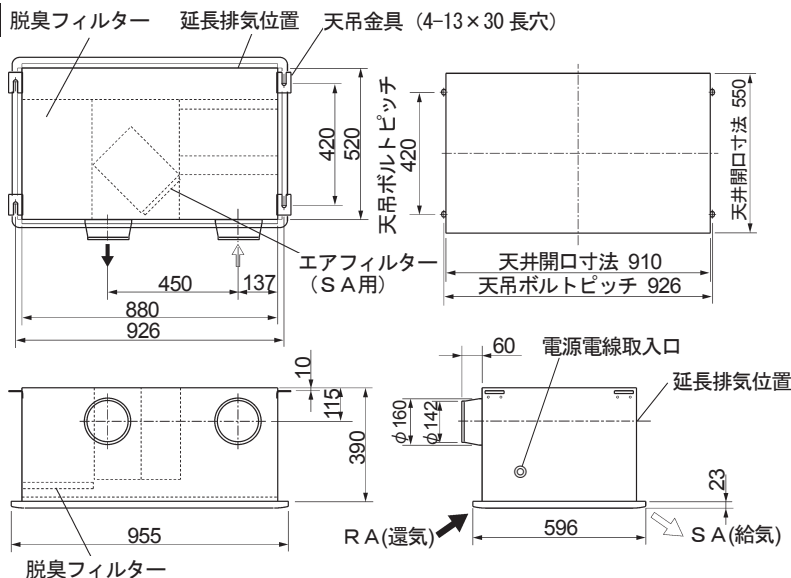
仕切りパッキン..... 4



LGH-N15DC

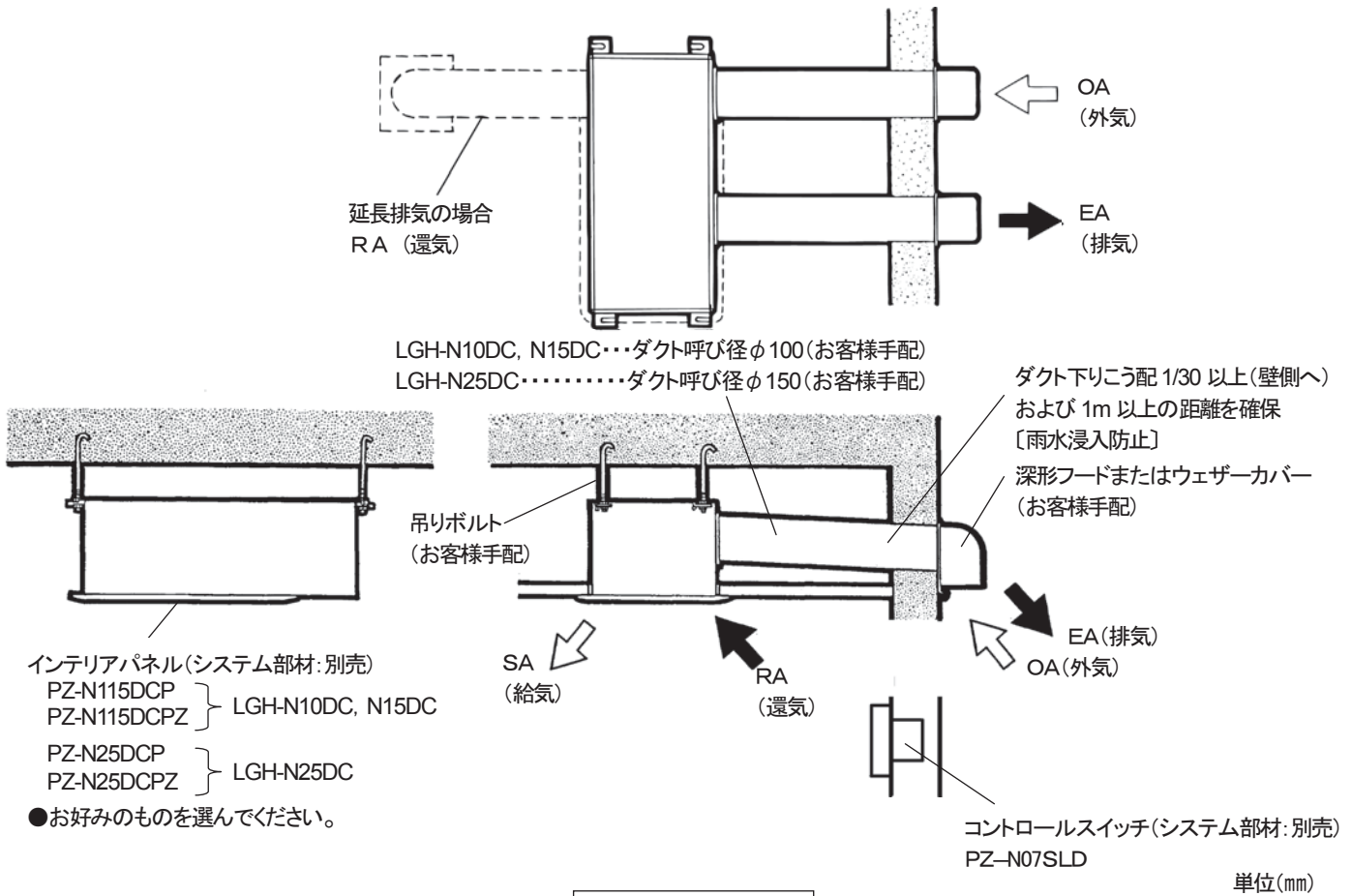


LGH-N25DC



単位(mm)

取付例



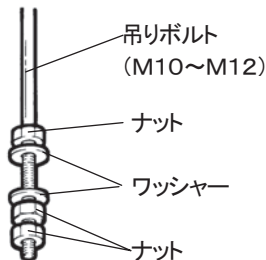
RA(還気)の延長

システム部材の延長排気セット(別売)(PZ-N10DHS)…LGH-N10DC, N15DC、(PZ-N25DHS)…
LGH-N25DC 用を使用すると、ダクト配管した先までRA(還気)を延長することができます。

据付方法

据付け前の準備

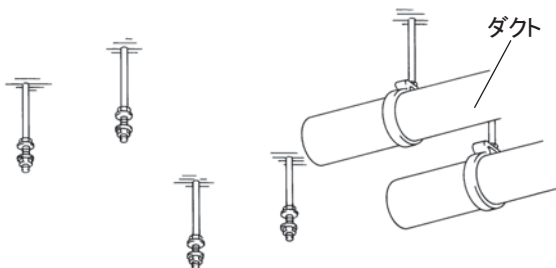
1



ダブルナットの取付け

- あらかじめ埋込んである市販の吊りボルト (M10 ~M12) に左図のように市販のワッシャー (外径でM10 で 21 mm以上、M12 で 24 mm以上)・ナットを取付ける。

2



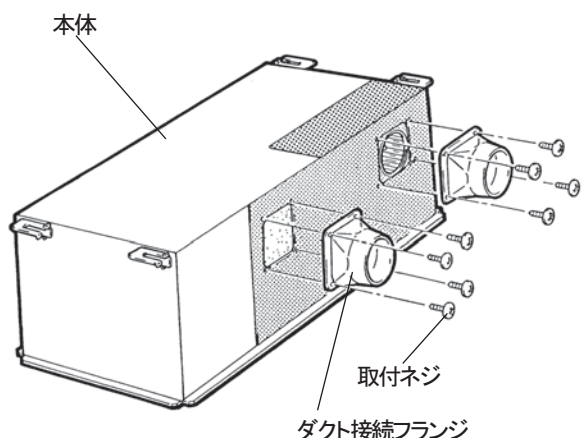
ダクト配管

- 壁の給・排気穴から本体までダクト配管する。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊るす。

据付方法 つづき

■以下の据付けは LGH-N15DC で説明しています。LGH-N10DC, N25DC も同様に据付けます。

1 本体の据付け



ダクト接続フランジの取付け

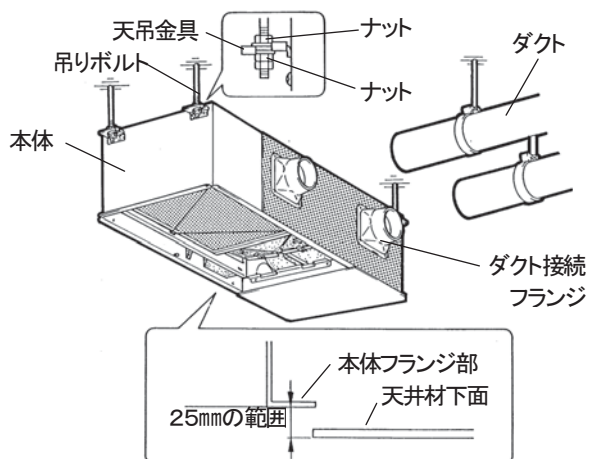
LGH-N10DC, N25DC の場合はダクト接続フランジが本体にネジ(1本)で共締めされています。取りはずした後、はずしたネジは必ず元通りに確実に締め付けてください。

- ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に締め付け固定する。

お願い

- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

2 本体の据付け

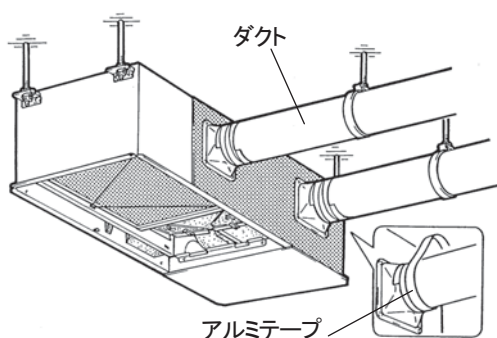


1. ダクト接続フランジをダクト配管に合わせて、天吊金具を吊りボルトに掛ける。
2. 本体を水平に調節してゆるみ防止のためダブルナットにて確実に締め付ける。

お願い

- 本体下面から25mmの範囲内に天井材がくるよう本体を固定してください。

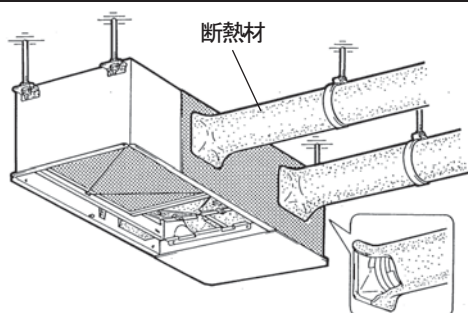
ダクト接続



給・排気ダクトをダクト接続フランジに接続する

お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- ダクト接続フランジとダクトのすき間は、市販のアルミテープなどを巻き付けてください。



断熱処理

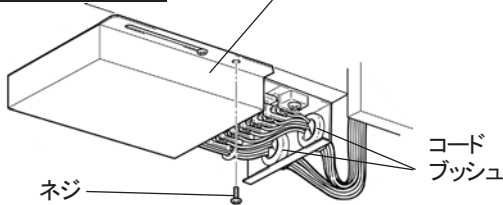
給気および排気ともダクト・ダクト接続フランジ部分は必ず結露防止のため断熱処理を施してください。

据付方法 つづき

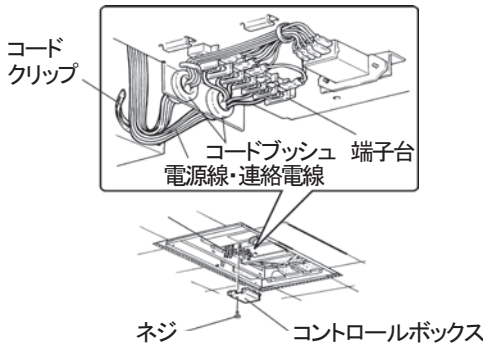
電気工事

■運転にはシステム部材（別売）のコントロールスイッチ（PZ-N07SLD）が必要です。

LGH-N10DC の場合 コントロールボックス



LGH-N15DC、N25DC の場合



1. 配線をする。

- 電源線・連絡電線にはφ1.6の単線（例 VVF）を使用してください。
- 本体取込寸法は1mの余裕をもって配線してください。

2. コントロールスイッチ（システム部材：別売）に同梱の据付工事・取扱説明書に従って取付ける。

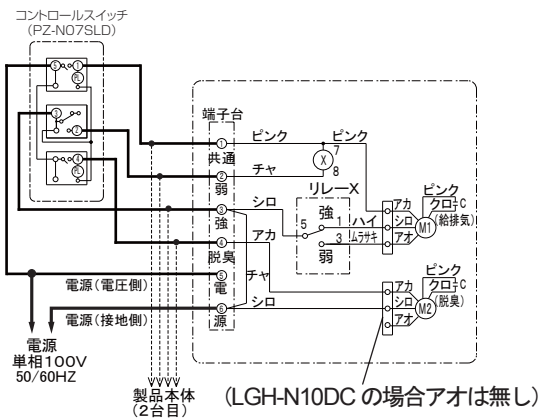
3. 本体の端子台に結線する。

- (1) ネジ（1本）をはずしてコントロールボックスをはずす。（LGH-N10DCの場合はスライドさせる）
- (2) 電源線およびコントロールスイッチとの連絡電線を電源コード取り入れ口から本体へ引き込む。
- (3) 電源線・連絡電線の先端を10mm皮むきする。
- (4) コードプッシュを通して各線を端子台に接続する。（結線図参照）
- (5) 結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認し、コントロールボックスを元通り取付ける。
- (6) 結線部に力が加わらないように、電源電線取入口手前にあるリードクリップで電線を束ねる。

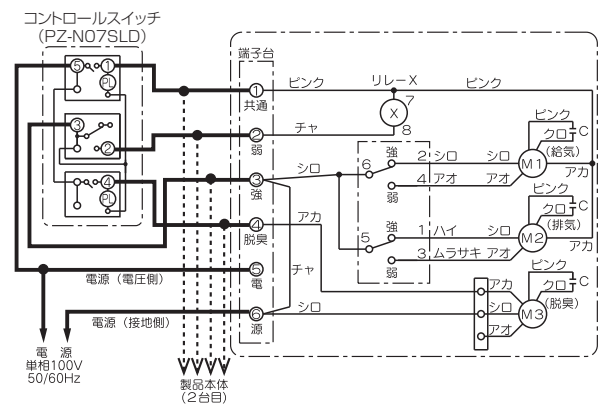
■結線図

※太線および破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

LGH-N10DC、N15DC



LGH-N25DC



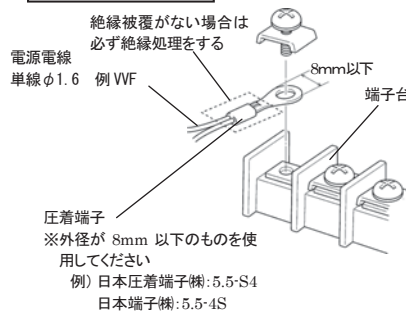
端子台接続時のご注意

安全のために次のことは必ずお守りください

⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの。
!	電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する。（使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります）

指示に従い必ず行う

圧着端子 接続例



■複数台運転について

コントロールスイッチ（PZ-N07SLD）1個で右記の同一機種複数台運転ができます。

形名	台数
LGH-N10DC	6台
LGH-N15DC	4台
LGH-N25DC	3台

試運転

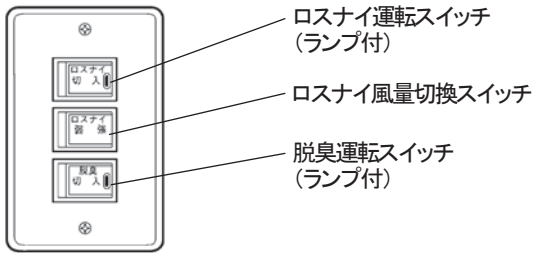
本体の据付工事が終了後、結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、分電盤のブレーカーが作動します。

必ず元電源を「切」の状態での確認を行う

		手 順
①	コントロールスイッチ	ロスナイ運転スイッチを「入」、ロスナイ風量切換スイッチを「弱」にし、脱臭運転スイッチを「入」にする
②	抵抗の測定 (ロスナイ本体)	ロスナイの端子台⑤⑥にテスターをあて、抵抗を測定する ほぼ0Ωを示したときは誤結線です 結線図を見て正しく結線し直す

元電源を入れ次の確認を行う



1. ロスナイ運転スイッチを「入」にし、ロスナイ風量切換スイッチを「強・弱」切り換えたとき、風が強・弱に切り換わるか確認する。
2. ロスナイ運転スイッチを「切」にする。
3. 脱臭運転スイッチを「入」にし、脱臭ファンの運転音を確認する。

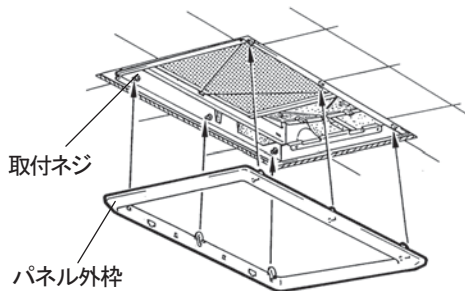
※吹き出し付近には回転部があり、手を入れると危険です。

パネル (システム部材：別売) の取付け

天井開口寸法図 (外形寸法図参照) に従って天井に開口部を設けます。

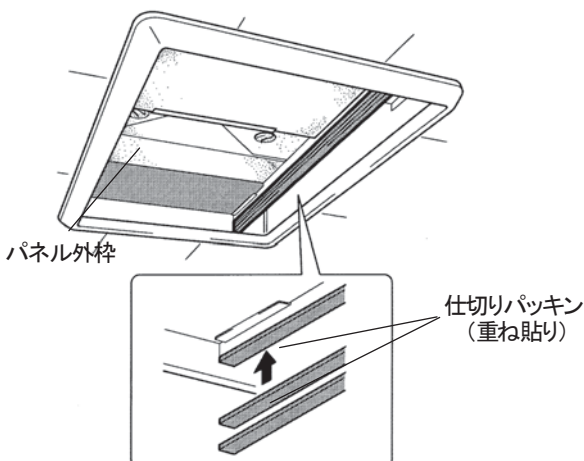
詳しい据付方法はシステム部材 (別売) のパネルに同梱の据付工事説明書を参照ください。

パネル外枠の取付け



1. パネル内枠の開き方向に空間があるかを確認し、開く方向を決める。
2. パネル外枠を本体内に入れ、取付調整用の長穴を製品本体についている取付ネジに引掛ける。(LGH-N15DC、N25DC はパネルに付属のネジを使用します)
3. パネル外枠を押し上げ、全周が天井面に密着する位置で仮止めした取付ネジを増し締めして固定する。
(パネル外枠は0~25mmの範囲で可動します)

仕切りパッキンの貼り付け



パネル外枠の可動範囲に応じて仕切りパッキン (付属部品) を左図の位置に貼り付ける。

お願い

- 仕切りパッキンはパネル外枠の可動範囲に従い確実に重ね貼りしてください。

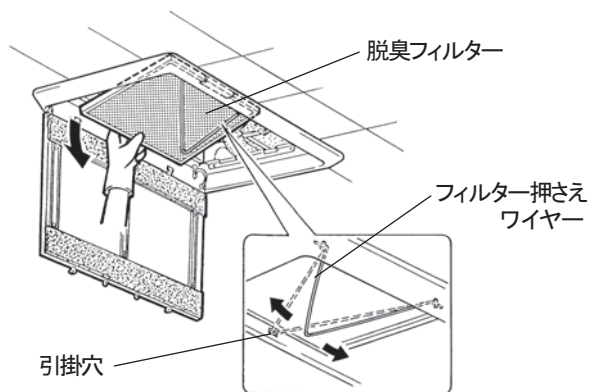
(給気と排気が混合して確実に換気されない可能性があります)

仕切りパッキン使用本数

形 名	パネル外枠の可動範囲	使用本数
PZ-N115DCP PZ-N25DCP	0~5 mm以下	2本
	5~15 mm以下	3本
	15~25 mm以下	4本
PZ-N115DCPZ PZ-N25DCPZ	0~5 mm以下	—
	5~15 mm以下	1本
	15~25 mm以下	2本

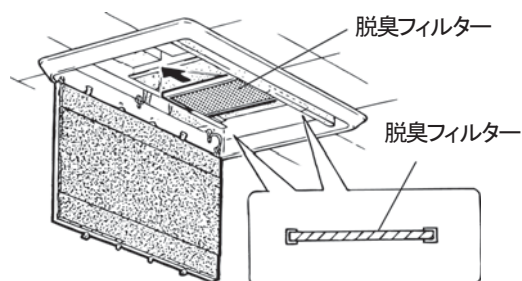
パネル（システム部材：別売）の取付け つづき

脱臭フィルターの取付け



LGH-N10DC, N15DC の場合

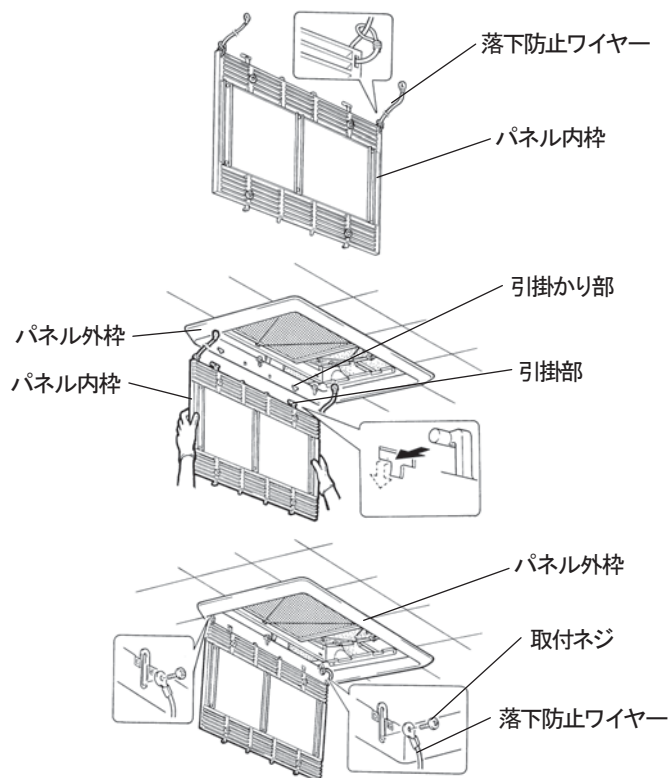
1. フィルター押さえワイヤーを矢印の方向に少し広げて引掛穴からはずす。
2. 脱臭フィルターを本体から取りはずす。
(ビニール袋に入ったままはずします)
3. ビニール袋から取り出した脱臭フィルターを元の位置に取付け、フィルター押さえワイヤーで確実に固定する。



LGH-N25DC の場合

1. 本体内にテープ止めされている脱臭フィルターを取りはずす。
(ビニール袋に入ったままはずします)
2. ビニール袋から取り出した脱臭フィルターをガイドレールに差し込み、矢印方向の奥までスライドさせる。

パネル内枠の取付け



1. パネルに付属の落下防止ワイヤーをパネル内枠に通す。(2か所)
2. パネル内枠の引掛部をパネル外枠の引掛かり部に掛ける。
3. 落下防止ワイヤーをパネルに付属の取付ネジ(残り2本)でパネル外枠固定とともに本体に固定する。(2か所)
4. 両手でパネル内枠を押し上げ引掛部をパネル外枠にはめ込む。
●はずれないことを確認する。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。